



# チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

CAM-195745

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

## 国情報

### カンボジア王国



インドシナ半島に位置し、ラオス、ベトナム、タイと国境を接し、南部は南シナ海に面しています。国土は日本の半分弱の広さで、クメール人が国民の90%以上を占め、宗教は上座部仏教が主流です。1970年代のクメール・ルージュ率いるポル・ポト政権による大量虐殺やその後の内戦を経て、1990年代に民主的な選挙が行われ、立憲君主制国家として歩んでいます。



出典：外務省

## 地域情報

### トモ・プオ地域開発プログラム (CAM-195745)



支援期間：2011年～2026年\*

\*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のプノンペンから北西へ約350kmのバンティ・ミエンチャイ州トモ・プオ郡で、プログラムを実施しています。住民の多くは農業に従事していますが、11月～4月の乾期は農作物がほとんど収穫できません。その間、食料の備蓄が十分でなかったり、乾期が長引いたりすると、日々の食料にも事欠く世帯が出てきます。現金収入を求めて、都市部や国境を越えてタイに出稼ぎに行く人々もいますが、非法な出稼ぎで様々な危険に遭遇したり、出稼ぎが家族崩壊の一因になるなどの問題が発生しています。

## 地域の課題



支援地域の一般的な住居の様子



乾期はほとんど雨が降らず、農作物が育ちません



### 保健・栄養

低身長の子どもの割合 27%\*\*\*

低体重の子どもの割合 19%\*\*\*



### 水・衛生

安全な水源から水を得られない人の割合 97%\*\*

衛生的なトイレを使用していない人の割合 83%\*\*



### 教育の質

9年間の基礎教育を修了できない子どもの割合 18%\*



### 出稼ぎ者の増加

家族が出稼ぎに行っている世帯の割合 39%\*\*

\*2014年 \*\*2015年 \*\*\*2016年



## 保健・栄養

健康管理や栄養に関する住民の知識が不足しているため、頻繁に下痢を起こしたり、栄養状態が悪い子どもが大勢います。子育て中の母親や妊産婦に対する、保健・栄養についての知識の普及が課題です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 母親・保護者を対象とした栄養教室、母乳育児推進の啓発活動
- 保健サービス改善に向けた行政への働きかけ



母親に料理指導を行い子どもたちの栄養状態の改善を目指します



## 水・衛生

安全な水源が少ない上、水を煮沸したり不純物を取り除くという知識がないため、汚れた水を飲んで下痢などの病気にかかる子どもが後を絶ちません。衛生的なトイレの利用率も低く、衛生環境が劣悪です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 貯水池、井戸、給水システムの整備
- 衛生知識普及のための住民リーダーへの研修
- 手洗い、爪切りなど衛生習慣普及のための活動



手洗いなど衛生的な習慣の普及を促します



## 教育の質

小学校への入学率は90%を超えるものの、基礎教育である9年生を修了できるのは82%に止まります。家庭の経済状況のため働きに出るため、中退せざるを得ない子どもがまだ多くいます。教師の給料が低いので副業を持つ者が多く、指導方法に関して十分な研修も受けておらず、教育の質が低迷しています。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 読み書き・計算能力を向上を目指した課外授業(中退した児童も対象)
- 教師を対象とした教授法や学校運営についての研修



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します



## 出稼ぎ者の増加

地域内に雇用の場が十分になく、農業だけでは家族を養えないため、出稼ぎに出る住民が多くいます。特にタイへの不法な出稼ぎが多く、危険な目にあったり、家族が離散し崩壊する場合があります。人々が地域の中で十分な収入を得られるよう支援が必要です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 行政、寺院、教会等と地域ネットワークを構築し、両親の出稼ぎのため、祖父母や親戚等と暮らす特に貧困世帯の子どもたちを支援



住民が地域の中で生計を立てていけるよう支援します



### 支援はチャイルドの生活を変える力となります

勉強が不得意だったリン君(写真、右)は、授業についていけず、先生に怒られるので学校が嫌いでした。授業をさぼって牛の世話をしたり、動物を捕まえに行ったりするリン君を、両親はどう扱っていいかわかりませんでした。

しかし、ワールド・ビジョンの活動を通して、リン君は教育の重要性や衛生的な習慣について学びました。また、チャイルド・スポンサーから自分を気遣う手紙を受け取り、大いに元気づけられました。大きくなったら車や機械を修理する仕事をしたい、という夢を持って、今は一生懸命勉強しています。

ワールド・ビジョンは、リン君のような子どもたちを励まし、健やかな成長を助けるために、支援活動を行っています。